2023　年度 授業計画(シラバス)

学　　科	看護学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	実習
科 目 名	成人老年看護学実習(慢性期)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	90 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時限	後期	教室名	各実習施設
担 当 教 員	田村美紀	実務経験とその関連資格	慢性腎臓病指導看護師として血液透析センターで勤務			

《科目目標》

慢性的な疾患を持つもしくは障がいとともに生活する対象のセルフマネジメントを支援し、その人らしい生活の再構築に向けた看護が実践できる基礎的能力を養う

《成績評価の方法と基準》

【評価方法】成人老年看護学実習(慢性期)評価表をもとに評価する
【評価基準】優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満

《使用教材(教科書)及び参考図書》

ナーシング・グラフィカ　成人看護学①成人看護学概論
ナーシング・グラフィカ　成人看護学③セルフマネジメント
ナーシング・グラフィカ　成人看護学⑤リハビリテーション看護
ナーシング・グラフィカ　老年看護学①高齢者の健康と障害
ナーシング・グラフィカ　老年看護学②高齢者看護の実際

《授業外における学習方法》

事前学習、課題学習を行う。

《履修に当たっての留意点》

看護師になる上で臨床現場でしか学べない多くの知識・技術・態度を身につける機会となる。実習をより実りあるものにする為に学内での授業・実習をしっかり受講し、事前準備を万全にして臨むこと。

実習プログラム

実習期間 時間数	2024年2月 合計90時間
実習の目的	1. 実習目的 慢性的な疾患を持つもしくは障がいとともに生活する対象のセルフマネジメントを支援し、その人らしい生活の再構築に向けた看護が実践できる基礎的能力を養う 2. 実習目標 1) 成人期・老年期の特徴を踏まえ、慢性的な疾患や障がいと共に生活する対象の特徴を理解する 2) 慢性的な疾患や障がいと共に生活する対象のセルフマネジメントを支援し、その人らしい生活の再構築に向けた看護を実践する 3) 対象者を取り巻く保健・医療・福祉システムや、多職種との連携・協働の在り方を理解する
実習の内容	1) 対象の病態生理・治療・検査・合併症について説明することができる 2) 対象のライフスタイルと生活環境を理解し、その人らしい生活の在り方に関心をもつ 3) 機能障がいや疾病のコントロールのための生活上の規制が、対象の心理・社会的側面に与える影響を説明できる　4) 対象のセルフマネジメント力を引き出し、高められるように援助することができる　5) 残存機能の拡大と生活の再構築に向けた援助が実施できる　6)生活上の不安や混乱・身体的苦痛などの思いを共感的にとらえ、意思決定を尊重し関わることができる 7) 療養生活支援のための社会保障制度及び社会資源の活用について説明できる